

## 小学部 まとめ

### 【合同音楽の授業実践】

#### 1. 県教育センター指導主事と事前打ち合わせから

##### (1) 授業をどのようにデザインしていくか

音楽は沈黙も大事である。(他者の音を聞く) 7人の児童、個々の山場をどうとらえるか。

個々の目標を具体化 → 「達成できた」と評価できる基準をもつ。評価できる姿を明確にする。

授業の目標を1つに絞る → ゴールを授業の導入で児童に示す。

##### (2) 指導案作成・授業づくりについて

- ・全体目標、個別目標、評価基準について、学部全員で検討していく。
- ・T1は全体目標を設定、授業の流れを作り、活動をまとめていく。
- ・T2～T6 および担任は個別の目標・評価基準を指導案に明記し、個別の目標に迫ることができるよう支援にあたる。
- ・これを授業者同士で共有する。

#### 2. 学部の取り組みおよび事前研究会より

学校研究1年次:「学習指導要領に基づく目標設定の仕方」を受け以下の取り組みを行った。

##### (1) 授業づくり

###### ①「目標・内容の一覧」を活用した実態把握

- ・実態幅が広いとため、学習指導要領の「目標・内容の一覧」を使い実態把握を行う。
- ・「実態に該当する項目」を一覧に記載し、個々の実態と、学習集団の全体像を把握する。
- ・「目標の根拠とする項目」を明確にし、一覧に記載する。
- ・「実態」「目標の根拠」の記載された「目標・内容の一覧」を別紙添付という形で指導案に反映させる。



###### ②目標設定

###### T1: 全体目標

- ・「学習指導要領に基づく」という観点で、学習指導要領に明記されている「表現を楽しむ」「音楽表現を工夫する」など、文言そのままを取り入れ、幅を持たせて設定する。

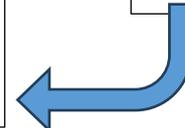
###### T2～T6:全体目標を基に個別目標を設定

- ・個別の目標を設定していくときに、具体的な姿での目標・評価としていく。



###### ③授業づくり

- ・めあてカードの作成。
- ・ゴールの共有。
- ・個々の目標、「できた」を明確にする。



(2) 小学部の事前研については、①学部全職員での事前研、②T1と各学級から選出した代表教員で構成したチーム検討会の2つの会で取り組んできた。

事前研究会 6回(8/25、9/11、9/25、10/22、11/6、11/20)

チーム検討会5回(10/2、10/14、10/16、10/17、10/27)

### 3、実践を通して

#### (1) 指導案作成について

○今年度の学校研究テーマ「学習指導要領に基づく目標設定の仕方」にせまるために、学習指導要領の「目標・内容の一覧」を活用して実態の把握・目標設定を行った。「目標・内容の一覧」を活用することで共通理解を図りやすく、学習集団の実態幅等もわかりやすくなった。

#### (2) 授業づくりについて

○T1が全体のめあてを提示し、「めあてカード」を毎時間使いながら、個々の「めあて」を確認し、活動後に振り返ることで、T1の話聞く姿勢が育った。



○めあてを児童と教師が共有することで、めあてが伝わっていると感じた。

○見通しをもって学習に取り組むことで、児童の表出や、表現方法を工夫しようとする姿が増え、個々の成長を感じることができた。

▲今回の「めあてカード」の形式では、めあての共有・振り返りが難しかった児童がいた。

▲どのように目標を伝えるか、どのように振り返るか、活動量や難易度はどのくらい可能なのか、実態に幅がある集団での学習の際は、検討が必要である。



### 4、事後研究会より

助言者：県教育センター 本間みゆき 指導主事

#### (1) 目標設定について

・今回の「目標・内容の一覧」を活用し、実態だけでなく、目標の根拠とするところも示してあり、良かった。

・全体目標と、個人目標の考え方は、今回の考え方で良い。

①全体目標：指導要領の文言を用いた抽象的な表現となっても可でもある。

②個別目標：具体的な表現で個別の目標、評価基準を設定する。

・目標の振り返り（自己評価、自己分析）→「自己効力感」「自信」につながっていく。

→「自己効力感」「自信」は自立と社会参加に必要な力

・目標の確認と振り返りを、これからも実施していく。

#### (2) 教科について

・児童が「音楽的な見方・考え方」を働かせている具体的な姿は？と、考えていく。

・音楽科であれば、音楽を形作っている要素（共通事項（1）ア）というものがあり、児童の発達の段階やねらいに応じて、適切に選択したり関連付けたりして指導することが求められている。

・児童が各教科の「見方・考え方」を働かせている具体的な姿を考え、目標設定・評価していく。

### 5、まとめ

○目標設定の仕方については、おおむね成果が見られた。

・児童と「目標の確認」と「振り返り」に取り組むにあたり、「何が」「どのように、どのくらい」できるようになったのか、児童自身に実感があるか、という視点で検討していく必要がある。